



りんご生産情報（9月号）

令和6年9月18日
北地区営農係



1、肥大状況

9月1日現在、各品種とも順調に推移しています。

単位：ミリ

地点/品種	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
中崎（平場）	88	84	81	84
住吉（中間）	97	88	80	87
弥生（山手）	89	86	75	84
農協平均（平場）	91	84	80	84

2、中生種の収穫

9月4日現在で「ひろさきふじ」の熟度は、平年に比べると糖度12.4%（平年比+0.1%）、硬度13.3ポンド（平年比-0.3ポンド）、酸度は平年並み、ヨード反応2.6（平年比+0.3）と熟度は進んでいます。

地色の青みが抜け、明るい色調になった頃から収穫作業を始めましょう。

また、本年産は着色を待ちすぎると軟質果の発生が懸念されますので、収穫遅れにならないよう注意しましょう。

「トキ」の熟度も平年に比べ進んでいます。熟期が揃わないため、カラーチャートを参考にすぐりもぎを徹底しましょう。

当組合では、ひろさきふじの糖度13%以上を「夢ひかり」、トキの糖度15%以上を「メジャートキ」として取扱いしています。この比率を高めるためには、適期収穫が重要となります。



3、中・晩生種の着色管理

○除袋作業

ジョナやふじなどの有袋栽培では、9月いっぱいを目安に除袋を行いましょう。

日焼け防止のため、果実の温度が上がる午前10時頃から午後3時頃を目安に行いましょう。

また、葉摘みは日焼け防止、糖度・貯蔵性を高めるためにも除袋後に行いましょう。

内袋が青色・・・外袋除袋後3～4日後に内袋を除袋

内袋が赤色・・・外袋除袋後4～7日後に内袋を除袋

○摘葉作業

早くからの強い葉摘みは、食味の低下につながりますので、9月いっぱいには果実に密着した葉を摘み取る程度にし、10月に入ってから本格的に取り掛かりましょう。

○落果防止剤の散布

中生種で落果が見られるものについては、落果防止剤を散布しましょう。

品名	倍数	使用時期	散布量	使用回数	備考
ヒオモン水溶剤	2000倍	収穫21～4日前	300～600	2回以内	混用不可・展着剤不要

トキ・ひろさきふじ・早生ふじ・ジョナゴールド・シナノゴールドについては、異常高温による落果が見られる場合、落ち始めたところに散布するようにしましょう。

栽培履歴をまだ提出していない方は、最寄りの支店までご提出ください。

